



特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 319

Juli 2017

NPO法人 神戸日独協会

〒651-0087

神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館 19F

TEL/FAX 078-230-8150

郵便振替 01160-9-18199

E-mail: info@jdg-kobe.org URL <http://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE GESELLSCHAFT KOBE

International House Kobe 19F

Goko-Dori 8-1-6 Chuo-Ku

651-0087 KOBE/JAPAN

神戸日独協会主催



ドイツビアフェスト2017



ビールジョッキを高々と、プロースト！
隣の人と腕を組んでシュンケルンしながら、ドイツのビアソングを！
ドイツヴルストを味わいながら、プロースト！

神戸日独協会は、好評をいただいている恒例の「ドイツビアフェスト2017」を開催します。夏の思い出に、親しい友とともにビールを飲みながら、アコーディオンの伴奏でビアソングを歌って楽しい一夜を過ごしましょう！お誘いあわせの上、ご参加をお待ちしています。

ドイツビアソング アコーディオン演奏 平野 新祐 氏

日 時： 2017年8月5日(土) 17:00～19:00

会 場： ビアレストラン ロイン 三宮店 (国際会館南前のビル地下1階)

神戸市中央区磯上通8-1-19 カーサグランデ神戸ビルB1、078-242-3611

チケット： 会員4,500円 一般5,000円 (料理・飲み放題込み)

☆当日はチケットがないと会場に入場出来ませんので、前もって必ずチケットをご購入ください。

定 員： 80名(着席ビュッフェ形式) 定員になり次第締め切らせていただきます。

お問合せは事務局まで。

チケットのお求めは、同封の振込用紙にご希望の枚数とお名前を明記の上、お振込下さい。
ご入金を確認させて頂いたチケットは、当日会場にてお渡し致します。事務局でもチケットの販売を致します。チケットの払い戻しはいたしませんので、ご了承ください。

ドイツ映画を見る会 Film-Matinee

～ドイツ映画を一緒に見ませんか？～

～Wollen wir gemeinsam einen deutschen Film sehen?～

今年7月、ドイツナショナルサッカーチームのルーカス・ポドルスキ選手がヴィッセル神戸でプレーするため来神しました。これを記念し、感動のサッカー映画「ベルンの奇蹟」を一緒に見ましょう。映画を見た後は、神戸大学のマルコ・シュルツェさんと感想などを語り合う交流会はいかがでしょう。

In diesem Juli ist der Fussballstar Lukas Podolski nach Kobe gekommen, um in Vissel Kobe Fussball zu spielen. Wir nehmen es zum Anlass und laden Sie zur Film-Matinee mit „Das Wunder von Bern“ ein. Anschließend unterhalten wir uns gemeinsam über den Film. Herr Marco Schulze, Professor an der Kobe-Universität, leitet das Gespräch.

◇映画:ベルンの奇蹟(2003年ドイツ映画、113分、ドイツ語+日本語字幕)

◇Film: Das Wunder von Bern (2003,113Min. Deutsch mit japanischem Untertitel)

◇日時: 2017年7月23日(日) 14:00～16:30

◇Datum: 23.7.2017(So)14:00 – 16:30

◇場所/Ort: 神戸日独協会会議室/Konferenzraum der JDG Kobe

◇定員/Teilnehmerzahl: 25名/25 Personen (max.)

◇費用/Kosten: 無料/kostenlos

◇申込/Anmeldung: 2017年7月20日(木)まで/bis 20.7.2017(Do)

◇Tel.078-230-8150 E-mail:info@jdg-kobe.org

日独若者の「神戸再発見」

Gemeinsam Kobe neu entdecken

第41回 Photogen! 舞子公園と五色塚古墳

理事 日下 澄子

6月17日(土)、世界一の吊り橋「明石海峡大橋」を、舞子公園と五色塚古墳から見てきました。SNS 利用が身近な今だから、昔からの景勝地で、フォトジェニックかつ意外性を感じる神戸の一面を発信することも一興だと思い実施しました。

舞子公園は、橋に向かっても後ろを振り返っても聞き及んでいた通りの絶景で、明石藩舞子砲台跡からの橋と淡路島の眺めは壮観、真下から眺める橋も大迫力。「舞子海上プロムナード」から見た海面も確かにスリリングでしたが、ここは海・橋・松・淡路島を、浜から眺めるだけで存分に楽しめる場所だと感じました。

五色塚古墳では先ほどの景色を古墳から眺めました。埴輪や葺石、景色も素晴らしいのですが、個人的には「立ち入り可能な古墳」に大コーフン。皇族ではなく豪族のお墓(と言われている)ゆえ

に見学できるということ、復元される前は自由に土地活用がなされていたこと、それも、かつて古墳の上には神社があり、傾斜は段々畑で生活の営みの場として活用され、そしてハイカラ神戸の周辺には今でも古代遺跡がたくさんある・・・などなど歴史の教科書だけでは知り得なかった古墳と神戸の意外な一面を事務局の方のお話を通じて知りました。興味深かったのは、古墳にはドイツ人も訪れるし、秋になると毎年のようにドイツから団体が訪れるというお話。「なので今後はドイツ語の案内もあつたら良いな！」「ドイツにも古墳のような存在のお墓はあるのかな？」などといった会話をかわしながら、短い時間でしたが事務局の方*と交流できたことも、今回の嬉しいできごとでした。*NPOで皆さん古墳が大好き

とても恵まれた爽快なお天気で、メモリーカードがいっぱいになる程の写真を撮りました。神戸に住んだ経験が無い私にとって、とても新鮮な「神戸再発見」でした。

第42回 ドイツ人研修生との交流会「ドイツのアクチュアルなトレンド」

会員 阪口 理恵

今回のテーマ「アクチュアルなトレンド」にとっても興味があつたので、交流会へ初参加いたしました。講師を勤めてくださったカテリーナ・ベルガーさんは、ミュンヘン大の大学院生ということで、ミュンヘンの話から始まり、直近の統計データ等を交えつつ、分かりやすく解説を頂きました。所用で途中退席となったため、私が伺えた範囲でのレポートとなります。ミュンヘンと札幌が、夏と冬のオリンピックを開催した間柄がご縁で姉妹都市なことも、今回初めて知りました。

音楽や人気のテレビ番組のようなサブカルチャーの話も面白そうで、また別には是非伺ってみたいです。軽重色々なテーマが取り上げられ、ニュースの観点では、日本でも度々話題になった難民問題について、我々参加者の感覚に反し、最近では状況も流入数も安定してきているせいか話題になる回数も減っていて、むしろ周辺国との諸問題における難しい舵取りに関心が移っているということでした。そしてやはり大事なものは食の話題。ドイツの食といえば、国内で千種類は存在するらしい国民食とも言えるソーセージと、トレンドとしてはBIOも外せません。そもそもBIOとは何かという話から、ドイツ人がBIOの食品についてどう考えているのかという点では、それほどこだわらなくても一般的に十分安全だとか、BIOはいいけど高いといった市民の声も紹介され、BIO先進国でも日本と同じような傾向があるのだなとわかって面白かったです。

(主催者追記)続いて、ベルガーさんと質疑応答を通し、懇談が始まりました。食品について生産者と消費者の関係、ナチス時代の抵抗運動をしたミュンヘン大学の学生ショル兄妹について、若い人たちの間でもお国言葉を使うことがトレンドになりつつある・・・などなど話題は尽きず、楽しいひと時となりました。

第43回 盆踊り／43. Treffen: Sommerfest BON-ODORI

「盆踊り」に参加しませんか？「盆踊り」は、日本の夏祭りです。「盆踊り音楽」や「演歌」とともに和太鼓が演奏され、みんなで輪になり日本のリズムに合わせて踊ります。日本の伝統衣装「浴衣」を着て参加する人もいます。「屋台」で食べ物や日本のおもちゃを買うことも楽しみの一つです。神戸日独協会では、岡本の野寄公園の盆踊

りへの参加を予定しています。昔ながらの「盆踊り」を、「浴衣」を着て一緒に体験してみませんか？「浴衣」は神戸日独協会より貸し出します。

Nehmen wir an BON-ODORI teil! OBON ist ein Sommerfest Japans.

Da tanzen alle BON-ODORI im Kreis zur japanischen traditionellen Musik, zu BON-Liedern, ENKA und japanischen Trommeln. Unter den Teilnehmern tanzen manche in traditionellen japanischen Sommerkimonos YUKATA. Es macht auch Spaß, Essen und japanische traditionelle Spielzeuge in YATAI Buden zu kaufen.

Die Japanisch-Deutsche Gesellschaft Kobe bietet BON-ODORI im Park NOYORI in Okamoto an. Probieren Sie bitte dieses BON-ODORI mit YUKATA mit allen zusammen! Die JDG steht Ihnen gerne zur Verfügung, YUKATA zu leihen.

■日時／Zeit: 2017年8月19日(土)／19.8.17 (Samstag) 18.30 - 20.00
(18時 屋台開店、19時 盆踊り／18.00 Yatai geöffnet 19.00 Tanzen start)

■集合／Treffpunkt: 18:00 JR住吉駅

「浴衣」を借りる方、着付けをお手伝いいただける方は16時に神戸日独協会にお越しください。

Aber wer Yukata entleihen möchte und wer mit dem Anziehen des Yukatas helfen kann, sollten um 16.00 Uhr zur JDG Kobe kommen.

■費用／Kosten:

飲食代各自払い／Essen und Trinken aus eigener Tasche bezahlt

■申込／Anmeldung: 8月16日(水)までに協会事務局へご連絡ください。

Anmeldung bis zum 16. August bei der JDG Kobe.

Tel/Fax: 078-230-8150 E-mail: info@jdg-kobe.org

同じ8月19日に、神戸メリケンパークでも「こうべ海の盆踊り」があります。こちらに行かれる方は、感想や写真をお送りいただければ幸いです。

＜募集＞浴衣を貸していただけませんか？

上記の通り、西岡本の盆踊りへの参加を計画しています。そこで、皆さまのお家で眠っている浴衣(男性／女性／子ども用)を貸していただけませんか？ドイツ人やGJG、参加いただける方々とともに、日本の夏を体験するためのものです。着付けていただける方も大募集です。ご協力いただける方は、事務局までご連絡ください。皆さまのご協力を、お願い申し上げます。

神戸日独協会 ドイツワインの会
第4回 ドイツワインの会 に参加して

ラッハマン 早希子

初めまして ラッハマン早希子と申します。只今ドイツに家族(ドイツ人の夫、子供2人)と住んでいます。今夏神戸に家族一緒に引っ越してきます。その下調べのために私一人で神戸に滞在中です。神戸とドイツに何かつながりや集まりはないかと探していましたが こちらの日独協会に出会うことができました。前の週にメリケンパーク散策に参加し、このワインの会を紹介していただきました。私自身、ワインは大好きでよく飲みますがあまり深く追求したことはありません。なのでとても楽しみにしてこの日を迎えました。

初めての方ばかりで少し緊張しましたが、皆さんとてもフレンドリーでそして株式会社ローテローゼの松田耕司さんがとても楽しく、会を進めてくれました。今回のテーマは、”ワインの産地を知る”ということで 4月に松田さんがドイツ各地を訪れた時の写真などを見ながらわかりやすく天候と気候とブドウの品種の関係性などを説明してくださいました。ドイツに住んでいてワイン畑やドイツワインは、よく目にしますがあまり深く見たこともないので、「なるほど」と勉強になることが多かったです。そしてお楽しみのワインの試飲ですが今回は5種類。スキッとさせたゼクトからはじまり、白2種類、赤1種類、最後は少し甘めのワインで締めました。各産地、ブドウの種類、温度によって味に変化があり、どれもブドウのいい香りのするとてもおいしいワインでした。皆さんもお酒が入りますます和気あいあいとなり とても楽しくワインとおしゃべりを堪能できました。また次回、参加したいと思います。

第6回「ワインのヴンテージ」 /Nr.6 Jahrgang

神戸日独協会では”日常生活の中でワインを楽しめるようになるきっかけづくり”をコンセプトにドイツとその食文化の理解を深める「ドイツワインの会」を開催しています。

第6回目のテーマは「ワインのヴンテージ」(年代、等級別比較試飲)。「ヴンテージってよく聞かけれど、いったい何が違うのだろう？わかるようになったら楽しいだろうな！」と思っている方、多いのではないのでしょうか？講師の松田耕治氏より解説いただきながら実際に試飲し、ドイツワインのヴンテージを学びましょう。

日時/Zeit: 9月10日(日)/Sonntag 10 September 14:00-16:00

場所/Ort: 神戸日独協会会議室 /JDG Kobe

定員/Teilnehmerzahl: 20名(先着)/ bis 20 Personen

※定員を超えた場合はキャンセル待ち

費用 /一般: 2,000 円 /Kosten : 2,000 Yen (会員: 1,800 円 /Mitglied : 1,800 Yen)

※締め切り日以後にキャンセルされた場合、後日料金を請求いたします。

ご了承ください。(締め切り日の申込者数でワインを発注するため。)

申込/Anmeldung: 2017年9月4日(月曜日)まで /Bis Montag 4. September 2017

Tel: 078-230-8150 E-mail: info@jdg-kobe.org

※初参加の方は、お申し込み時にお知らせください。(テキスト準備のため。)

ドイツ語談話室

第163回ドイツ語談話室

日時：2017年6月17日(土) 14時-16時

場所：神戸日独協会会議室

テーマ：私の好きな木と植物

今回の司会は原田耕作氏が担当し、今咲き誇っている紫陽花がお気に入りの花で、この花は神戸市の花でもあることを話した。多くの種類の紫陽花が神戸の六甲山系に広く自生しており、特に森林植物園には珍しい品種も多くある。次に、参加者がお気に入りの花や木を紹介した。以下その一部を記す。

- やはり紫陽花が好きな花で、紫陽花の花言葉は多くあるが、寛容、辛抱強い愛情、元気な女性、なども良い。
- 栽培された美しい花々よりも、自然の野に咲く花が好きである。タンポポ、ヤグルマギク、ヒナゲシ、など実にきれいである。
- 桜の花が大好きである。特に大阪造幣局通り抜けの桜は見事である。多くの素晴らしい八重桜が堪能できる。
- ドイツ樫の大木は、力強さやどっしりとした存在感があり大好きである。木の幹を抱くと強いエネルギーを感じるし、背を持たせかけると安心感がみなぎる。
- 桜の花が好き。今年は、神戸、東京、岐阜それぞれの桜の名所を訪ねて桜を満喫した。
- 日本杉の大木が良い。特に戸隠神社の杉の林が素晴らしい。今は楓の新緑も美しい。
- 屋久島の杉の大木が素晴らしい。樹齢4000年もの大木がそびえ、足下には苔が茂って、素晴らしい景色をかもしている。
- 10年以上前に植えた枇杷の木が大きくなって、今や多くの実を付けてくれ、気に入っている。(枇杷の実のコンポートを作って、参加者に配って頂いた。とても美味しくいただきました。)
- 合歡の木が好き。夏に薄いピンクの花を咲かせ、実に美しい。
- 奈良、郡山の紫陽花寺、矢田寺の境内に咲く紫陽花は種も多く実に見事である。
- 京都、日吉神社の楓は新緑が美しく、秋には真っ赤に染まって美しい。有馬のもみじも見事。
- 軽井沢に多い白樺の木は、新緑も美しいし、木の白い幹も景色に映えてとても美しい。
- 昭和天皇の言葉のように、雑草という草はなく、全ての草には名前があり存在意義があるとの考えに賛成。ユキノシタやドクダミも夫々に役立つ草花である。

今後のドイツ語談話室の予定

第164回 2017年7月15日(土) 14-16時 テーマ：私の好きな音楽

第165回 2017年8月19日(土) 14-16時 テーマ：お盆 (参加者は各自ビールのおつまみをご持参下さい。)

訂正とお詫び：第162回ドイツ語談話室の記録に、「中国には300を超える原発があり」となっているのは、「30を超える」の間違いでした。

Deutsche Gesprächsrunde

Protokoll der 163. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit: Samstag 17. Juni 2017, 14 bis 16 Uhr

Thema: Meine liebsten Pflanzen

Dieses Mal hatte Herr Kosaku Harada die Gesprächsleitung und erzählte, dass er unter den Blumen die Hortensie am liebsten hat. Gerade jetzt steht sie in höchster Blüte. Die Hortensie steht auch als Symbol für die Stadt Kobe. Im Rokko Gebirge finden sich verschiedenste Hortensien. Im Botanischen Garten *Shinrin* bekommt man auch besonders seltene Arten in großer Zahl zu sehen.

Bei der Gesprächsrunde kam es unter anderem zu folgenden Wortmeldungen:

-Ein weiterer Teilnehmer schätzt die Hortensie besonders. In der Sprache findet sich die Hortensie als Symbol für Großmut, für geduldige Liebe oder auch für energische Frauen.

-Einer Teilnehmerin sind die Feldblumen lieber, als die geordnet angepflanzten. Viele Feldblumen, wie der Löwenzahn, die Kornblumen oder die Mohnblumen, sind sehr schön anzusehen.

-Einem Teilnehmer gefallen die Kirschbäume beim Münzprägungsamt in Osaka besonders gut. Dort gibt es verschiedenste Sorten, die man bewundern kann, wenn sie in voller Blüte stehen.

-Noch einer Teilnehmerin gefallen die Kirschblüten am besten. Im Frühling dieses Jahres hat sie die bekannten Kirschblütenorte in Kobe, Tokyo und Gifu besucht.

-Einer Teilnehmerin gefällt die deutsche Eiche, in ihrer massiven, mächtigen Gestalt. Wenn man den Stamm umarmt, spürt man schier die große Energie. Und wenn man sich mit dem Rücken an den Stamm lehnt, gibt das ein Gefühl von sicherem Halt.

-Eine Teilnehmerin mag die große japanische Zeder. Besonders prächtig sind die Zedern im Heiligtum des Togakushi Schreins. Auch das frische Grün des Ahorns ist dort schön zu bewundern.

-Eine Teilnehmerin fand die gigantischen Zedern auf der Insel Yakushima Insel besonders beeindruckend. 4000 Jahre alte Zedern erheben sich dort, und der Boden ist mit Moos bedeckt – ein traumhaft schöner Anblick!

-Eine Teilnehmerin hat vor 10 Jahren eine japanische Mispel in ihrem Garten gepflanzt. Jetzt trägt der Baum viele Früchte. Das freut sie sehr. Aus den Früchten hat sie ein Kompott gemacht und mitgebracht. Es war sehr lecker.

-Eine Teilnehmerin mag „Nemunoki“, die japanische Albizzie, besonders gern. Dieser Baum trägt im Sommer hübsche blass-rosa Blüten.

-Ein Teilnehmer hat auch die Hortensien besonders gern und besucht in der Präfektur Nara, Koriyama, gern den Yata-Tempel, der auch als Hortensien-Tempel bekannt ist.

Auch dort finden sich viele Arten von prachtvollen Hortensien.

-Ein anderer Teilnehmer findet das frische Grün des Ahorns im Hiyoshi-Schrein in Kyoto besonders schön, Die Blätter färben sich im Herbst in wunderschönes Rot

-Eine Teilnehmerin mag die Birken in Karuizawa. Das frische Grün und die weißen Stämme bilden einen wundervollen Kontrast zum blauen Himmel.

-Eine andere Teilnehmerin sagte, dass sie der Meinung des Showa Tenno zustimme, der gesagt hat, dass es kein „Unkraut“ gäbe. Jedes Gras hat seinen eigenen Namen und seinen eigenen Daseinsgrund. Keines heißt „Unkraut“. Feldblumen sind auch Nutzpflanzen, wie der Steinbrech oder der *Dokudami*, eine Pflanze aus der Familie der Saururaceae.

Nächste Treffen:

Samstag 15. Juli 2017, 14 bis 16 Uhr Thema: Mein Lieblingsmusikstück

Samstag 19. August 2017, 14 bis 16 Uhr Thema: Das Fest Obon

(Bitte Kleinigkeiten zum Essen mitbringen.)

リレーエッセイ 「ドイツ語学習上達法」

第3回私のドイツ語上達法「歌を口ずさむようにドイツ語を話す」

会員 友岡 賢二

「日本から来た新しい仲間を紹介しよう。彼には英語でなく、ドイツ語で話しかけるように。」

2週間の英語研修を終えてハンブルグに赴任した初日にドイツ人のボスが全員に言った言葉です。その時点で私のドイツ語能力はゼロ。ボスから命じられブレーメンのゲーテ・インスティトゥートの基礎(Grundstufe1)コースで1ヶ月間ドイツ語漬けの生活を送りましたが、会社に帰っても同僚の話すドイツ語はさっぱり理解できません。単語を覚えたり、文法を覚えるよりも、とにかく会話の大意を掴まないと行けないと思い、同僚が喋っている内容を丸ごと耳から音で拾って、歌のメロディーを覚えるようなイメージで音を記憶して、それがどういう意味なのかを状況から学んでいきました。赤ん坊が言葉を覚える過程に似ていますね。

「ツヴァイビアビッテ」と言えばビールが2つ出て来る！よし、これでドイツで生きていける！こんな調子でセンテンスを丸ごと覚えて行きました。ですので、どこまでがどういう単語なのか、また単語の意味などもまったく知らないままなのですが、半年ほどすると下手だけど伝えたいことが伝えられるようになり、1年ほどすると文法は完全に破綻しているのですが、ネイティブのようなスピードでペラペラと喋っているような状況になりました。

小さい頃ピアノを習っていた時に、先生が弾いた音を耳で聞き取り、譜面に落とす訓練を受けていました。ドイツ語を学ぶ時に思い出したのが、この時の耳の使い方です。ピアノは直ぐに諦めましたが、ドイツ語学習では大変役に立ちました。そう、歌を口ずさむようにドイツ語を話すのです。

ということで生きるための術としてドイツ語を学んだものの、文法も語彙もお恥ずかしいレベルでございまして、あらためて一からドイツ語を学び直したいと思っておりますことを最後に白状致します。

シリーズ 「ドイツ、わが愛」

第3回 サッカーFußball 観戦記

会員 北川 玉恵

近年、ドイツのプロサッカーリーグであるブンデスリーガでは、たくさんの日本人が活躍をしています。香川選手や長谷部選手といった日本代表の軸を担う選手の活躍はご承知の通りですが、つい先日サガン鳥栖の鎌田選手がフランクフルトへ移籍することが決まりました。将来有望な若手選手たちが次々とドイツへと旅立っています。

さて、海外でのサッカー観戦というのは、とても緊張感が漂うものです。応援するチームへの熱意が強いだけに、時には暴動が起きることもあります。しかし、ブンデスリーガはそういった危険な空気はほとんどなく、観戦しやすい環境が整っています。

私も一昨年、内田選手が所属するシャルケ 04 の試合を観戦するために、ゲルセンキルヘンへ行きました。大きなスタジアムには、老若男女問わず、青いユニフォームを着た大勢のサポーターが集っていました。そこでは危険な雰囲気はなく、サポーター全員がサッカーをとて楽しんでいました。

スタジアムへ向かう道中、日本人である私を見つけると、気さくに「ウッシー!」と声をかけてくれます。これは内田選手のことでドイツ人はウチダの「チ」の発音が出来なくて「シ」になります。ドイツ人のサポーター達は、スタジアムのことやドイツでの食事のこと、ドイツのサッカーのことなど、とても穏やかにサッカー観戦の気持ちを盛り上げてくれました。まだまだドイツ語の勉強が足りなかった私ですが、応援を通じてスタジアムで彼らと一体となって歓声を上げた試合を忘れることができません。

しかしドイツ語でのコミュニケーションは思ったほど取ることができず、(通じない(笑))
「もっとドイツ語を勉強しないと」と反省しました。

残念ながらその試合に内田選手は出場しませんでした。次回は元気に試合に出場している内田選手と、その他の日本人選手が対戦する試合を観戦に行きたいです。その時は、今よりもっとドイツ語が話せて、ブンデスリーガの試合を 10 倍楽しめるようになりたいと思います。

とっても寒い 3 月でしたが、ぜひまた冷たいビールと茹でた白いソーセージ Weißwurst、ホクホクのジャガイモ、甘い白菜のクリーム煮を食べにデュッセルドルフに行きたい!と思っています。

ハンブルクレポート

Nr.3 ちょっとおでかけ～日帰りの旅～

会員 北村 美里

皆さまこんにちは！ハンブルクは、すっかり日も延びて夏らしくなってきました。そうなれば、お出かけもしたくなるもの。今回は5月に行った日帰り旅のお話です。

私の日帰り旅は、起きて晴れていて行きたかったら行くという気まぐれなものなので、フレキシブルに動けるニーダーザクセンチケットに度々お世話になっています。ニーダーザクセン州1日乗り放題のチケットで、ハンブルクも有効圏内に入っています。お値段23ユーロ(一人)。平日は午前9時～翌日午前3時のみ使用可、ICE などには乗れず近距離交通網のみという制限はありますが、便利なチケットです。(2017年7月1日現在)

このチケットで出かけた先がツェレ。駅から歩いて行くと、旧市街の手前で緑のきれいな公園に囲まれたお城が見えてきます。しばし散策を楽しんだ後、旧市街でツェレ在住の友人に会い、案内してもらいました。旧市街はそれぞれに個性的で可愛らしい木組みの家が建ち並びます。ただ家賃が高いそうで、いくつかの家はテナントが入らずがらんどろ。少し寂しい現実も見ました。入っている店の多くはチェーン店だそうですが、木組みの家に入るとなじみの店もスタイリッシュに見えるのが面白いです。

次に行ったのはハノーファー。目的はジョブメッセでしたが、メッセの後で街を歩くこともできました。特に印象に残ったのは、姉妹都市広島から贈られた平和の鐘が納められているエギディエン教会。第二次世界大戦の空襲で破壊されたままたずむ姿と静謐な空間が、「おまえは命の重みを知っているか」と問いかけてくるような場所でした。その後訪れた新市庁舎では、子どものお祭りで大盛り上がり。明るい声で賑わっていました。こういう平和な空間が続いていく努力をしないとイケませんね。この旅の帰りには、乗り換え駅ユルツェンでも少しだけ街歩き。あちらこちらでアートな石の置物と出会う面白い街でした。

他にもハンブルク内の交通機関 HVV の定期券を利用してアーレンスブルクのお城へ行ったり、エルベ川を河口の街まで船で行く旅をしたり…。ハンブルクから近くの街へのおでかけを存分に楽しみました。皆さんはどんな旅がしたいですか？

☆ 協会ホームページ「最新活動報告」に写真を掲載しています。どうぞご覧ください。

会員近著紹介

武村陽子著「(プロの添乗員と行く)ドイツ世界遺産と歴史の旅」

ドイツの街ってどこへ行ってもとても美しいですね。30年前に一人でドイツだけを旅行して以来、プライベートと仕事でいつの間にか60回くらいドイツを訪れていました。ツアーの仕事の場合は滞在数も短く、いつも同じところばかり(ロマンチック街道など南ドイツがほとんど)ですが、それでも、何度行っても全く飽きることがありません。今まで訪れたドイツの街の本を書こうと思い、2010年

に本書の初刊本が発行されてからすでに7年が経ちました。このたび、7年間で変わったところを修正すると同時に、最近ツアーなどでも人気が出てきている、ケルンやアーヘン、リュベック、シュヴェリーン城なども仲間に入りたいと思い、大幅に書き直しをすることになり、ようやくこの6月に完成しました。すでに書店にも並んでいます。

本書では、最初にフランクフルト、ライン川、ケルン、アーヘン、トリーアなど、ドイツ西部を訪れます。この辺りはとても歴史が古く、ローマ時代の遺跡も残っています。

その後は、北ドイツへと行き、ハンブルク、リュベック、ロストックなどのハンザ同盟時代の街や、北のノイシュヴァンシュタイン城ともいわれる、「シュヴェリーン城」を訪れます。それから、ベルリン、ポツダム、ドレスデンなどドイツ東部へと行きます。初版本では説明だけでしたが、今回はベルリンやドレスデンも現地ガイドの案内付きで回ります。また、今年2017年は、ルターの宗教改革から500年を迎える年です。世界遺産のルターシュタット「アイスレーベン」や「ヴィッテンベルク」の街も歩きましょう。ゲーテが暮らしたヴァイマルやルターがかくまわれたワルトブルク城も紹介しています。

そして最後に、南ドイツを訪れます。ローテンブルク(この本の表紙カバーの写真です)の街はガイドが付かないので、私の案内で歩きます。

ノイシュヴァンシュタイン城、ミュンヘン、ニュルンベルクや世界遺産があるヴュルツブルクやヴィース教会、レーゲンスブルク、バンベルク、バイロイト、シュパイヤー大聖堂にも行きます。最後にツークシュピッツェに登ります。

ドイツにある41の世界遺産のうち23か所を紹介、お城や教会の見学、街歩きをもっと充実させるための歴史なども所々に入れていきます。

ドイツ旅行のお供に、また、ドイツに行きたいけれど中々行く時間がないという方も、本書で旅行をしている気分になっていただければ、大変うれしく思います。(改訂版) 彩図社

事務室からのお知らせ

ボランティア募集 ドイツ人の日本語支援

神戸市西区に在住のドイツ人(77歳)の方が支援をしてくださる方を求めています。

現在日本人の奥様との二人住まいですが、奥様が病気のために外出が困難になって来ました。御主人は出来ることは行っていますが、日本語ができないために、一人では区役所や銀行等での諸手続き、買い物をはじめとする日常生活に支障が生じ、神戸での生活の継続に不安を感じられています。

特に日本語を必要とする外出時に同伴して下さる方を緊急に求めています。不定期で、1~2時間ほどドイツ人の外出を支援をしていただけないでしょうか。お宅は神戸市営地下鉄「学園都市駅」から徒歩5分の所です。

プライバシー保護のため詳細は控えてのお願いをしますが、詳しい事及び条件などについては枡田会長(090-5133-5765、silcherrot1@yahoo.co.jp)までお尋ねください。

ご協力いただける方は、枡田会長までお願いいたします。

協会事務室お盆休み閉室のお知らせ

神戸日独協会はお盆休みのため、8月10日(木)～8月16日(水)の間事務室を閉室いたします。なお、この間ドイツ語講座とドイツ文化教室もお休みになります。

Das Büro der JDG Kobe ist von 10. bis zum 16. August 2015 wegen der Sommerferien geschlossen.

会報発送ボランティア募集

会報の発送を手伝ってくださる方を募集しております。発送予定日は8月9日(水)です。お手伝いいただける方は、事前に事務室へご連絡(TEL/FAX 078-230-8150)の上、12時半頃事務室にお越し下さい。

実行委員として神戸日独協会の活動に参加しませんか

神戸日独協会の主要な年間の活動は総会及び理事会によって決定されますが、日頃の活動は実行委員及び会員によって行われています。実行委員は定款上の役職ではなく、会員のボランティアによるものです。毎月第3日曜日に実行委員会を開催し、会員の方々が希望するあるいは実行委員のアイデアによる催し物を企画し、準備し、実行しています。神戸日独協会は会員の皆様の積極的なご支援を必要としています。

次回の実行委員会は7月16日(日)15時より協会会議室にて開催しますので、奮ってご参加ください。

これからの神戸日独協会の催し

日時	催し	会場	申込×切 など
7月15日(土) 14:00～	第164回 ドイツ語談話室	神戸日独協会 会議室(19階)	当日参加可
7月16日(日) 15:00～	神戸日独協会 実行委員会	神戸日独協会 会議室(19階)	当日参加可
7月23日(日) 14:00～	ドイツ映画を見る会 Film-Matinee	神戸日独協会 会議室(19階)	7月20日(木)まで
8月5日(土) 17:00～	ドイツビアフェスト2017	ビアレストラン ロイン 三宮店	定員になり次第 締め切り
8月19日(土) 14:00～	第165回 ドイツ語談話室	神戸日独協会 会議室(19階)	当日参加可
8月19日(土) 18:30～	日独若者の「神戸再発見」 第43回 盆踊り	野寄公園 (西岡本三丁目)	8月16日(水)まで
9月10日(日) 14:00～	「ドイツワインの会」 第6回「ワインのヴィンテージ」	神戸日独協会 会議室(19階)	9月4日(月)まで

